

名取川水系渇水対策支部（注意体制）の解除

仙台河川国道事務所では、名取川水系広瀬川の流量の低下により6月22日9時に名取川水系渇水対策支部（注意体制）を設置し、河川流況の監視強化に努めるとともに、適正な取水管理や渇水時の迅速な対応ができるよう関係機関と情報共有を図ってきましたが、7月以降の降雨により、広瀬川の流量が十分に回復したほか、大倉ダムにおいてこの時期の容量を十分に確保できたことから、当面の水利用及び河川環境に支障が無いものと判断し、本日17時30分に名取川水系渇水対策支部（注意体制）を解除しましたので、お知らせします。

<体制期間中（6/22～7/8）の対応>

- ◆ 瀬切れの発生の有無、魚類の斃死状況等を確認するため、河川巡視を強化
- ◆ 河川流量の改善を目的とした大倉ダムからの増放流を実施
- ◆ 水質監視として、水質調査を実施
- ◆ 取水管理の徹底を再確認するとともに日々の取水量報告を実施
- ◆ 渇水情報連絡会を通じ、河川流量、ダム貯水状況及び取水状況に関する情報を共有

<河川の流量：7月8日14時現在>

- ◆ 広瀬川 広瀬橋地点
- ◆ 流量 49.66m³/s （基準流量 1.0m³/s）

※ 流量については暫定値であり、確定値ではありません。

※ 「基準流量」とは、渇水対策支部設置基準となる流量で、直轄管理区間にある基準地点において定められており、渇水対策支部を設置する際の目安としております。

<大倉ダムの状況：7月8日14時現在>

- ◆ 貯水位 264.57m （活用水位264.35m）
- ◆ 貯水率 100%
- ◆ 流入量 15.84m³/s

<事務所体制>

河川（渇水） 令和 2年 6月22日（月） 9時00分 注意体制
令和 2年 7月 8日（水） 17時30分 体制解除

<記者発表会：宮城県政記者会、東北専門記者会>

問い合わせ先

<広瀬川渇水関係>

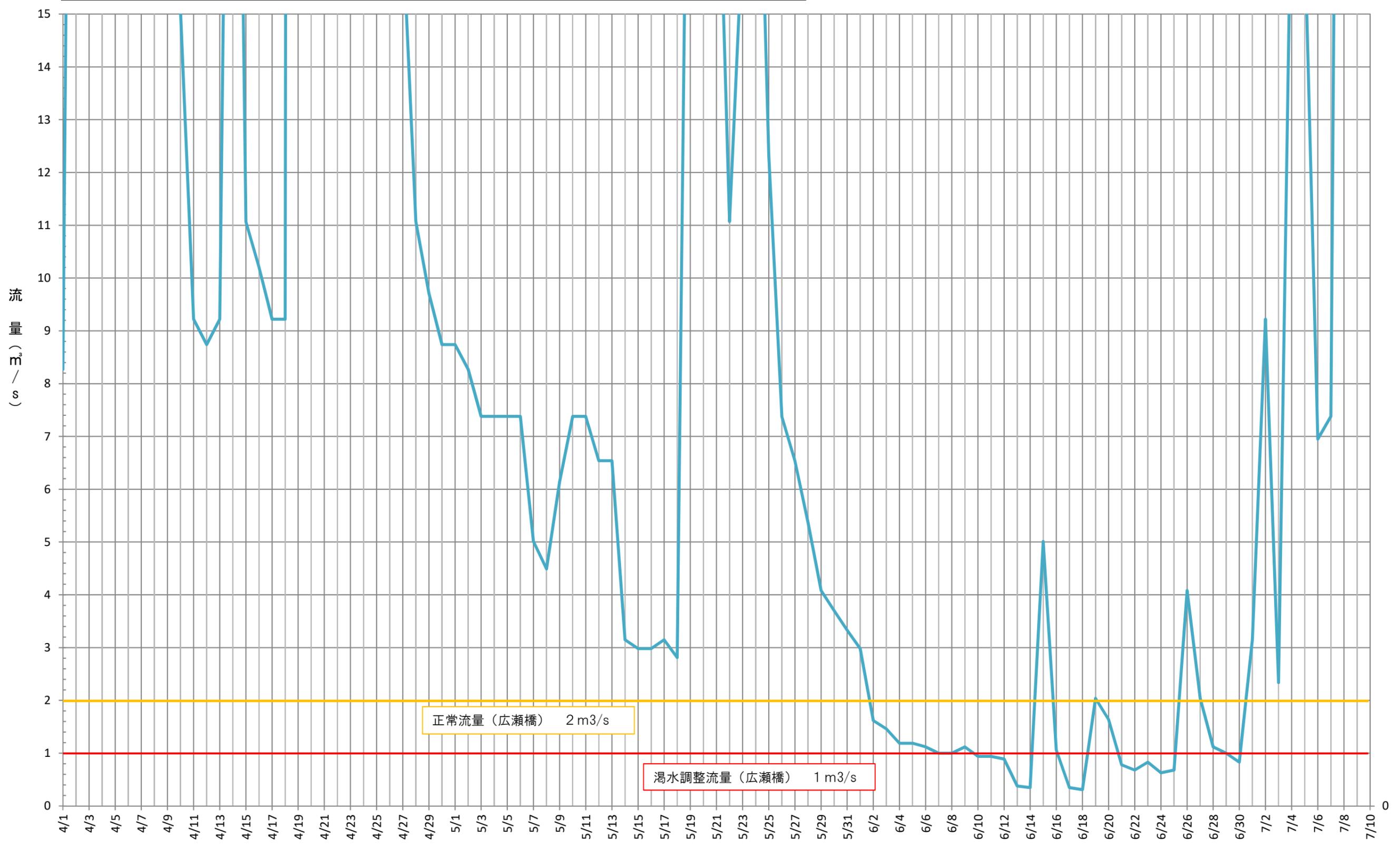
名取川水系渇水情報連絡会
事務局 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号 電話 022-248-4131

河川管理課長

せき ひろあき
関 浩明

2020年4月～7月の広瀬橋の流況グラフ（9時現在流量）

※広瀬橋水位観測所 流量については暫定値であり、確定値ではありません。





広瀬川下流の状況

(6月22日8:30頃)



流量: 0.68m³/s (暫定値)

(7月8日13:30頃)



流量: 50.92m³/s (暫定値)